

計量経済学第1回レポート

課題

あなたに関心を持っている分野の量的データを収集し、そのデータを被説明変数とする回帰分析を行いなさい。データは経済学に関連するものである必要はない。レポートは以下の構成で作成すること。

1. はじめに

このレポートでは何をするのか、どのような因果関係を仮定して分析を行うのか、なぜこのテーマを選択したのか等について書く。

2. データ

使用したデータについての説明および出所について述べる。

3. 分析

データの基本統計量（平均や標準偏差）を計算する。この作業で分かったことについて論じる。場合によっては散布図やヒストグラムを作成するのもよい。

実際に回帰分析を行った結果について述べる。ここでは、事前に予想していた関係が成立していたか、計算された回帰係数から読み取れることについて述べる。なお、えられた回帰式は以下の表記例のように記述すること。

$$(\text{計量経済学の点数}) = 30 + 2 \times (\text{講義の出席回数}) + 1.1 \times (\text{統計学の点数})$$

$$\bar{R}^2 = 0.81$$

また、時系列データを利用して回帰分析を行う場合は、説明変数としてタイムトレンドを加えたものも分析すること。たとえば、消費額を所得で説明しようとする場合

$$(\text{消費額}) = \alpha + \beta \times (\text{所得額})$$

に加え、

$$(\text{消費額}) = \beta_0 + \beta_1 \times (\text{所得額}) + \beta_2 \times (\text{タイムトレンド})$$

の回帰式を推定すること。ここで、タイムトレンドは、

年	消費額	所得額	タイムトレンド
1980	98	100	1
1981	101	108	2
1982	110	120	3
⋮	⋮	⋮	⋮
2000	130	135	21

のように、時間とともに1ずつ増加していく変数である。

4. おわりに

本レポートのまとめを書く。

5. 付録

分析に利用したデータを表にして添付すること。

その他の注意

- ・ レポートには必ず表紙をつけ、表紙には学籍番号と名前、レポートのタイトルを記述すること。
- ・ レポートのタイトルは「第1回計量経済学レポート」といったものではなく、レポートの内容を簡潔に表現するようなタイトルを付けること。
- ・ 図や表には見出しを付けること。また、グラフの縦軸、横軸が何を表しているのかを図中に明示すること。

提出先：学務係内のレポートボックス

締切：2008年6月30日（月）午後9時15分